

対ベトナム円借款「ラックフェン国際港建設計画」起工式

平成25年4月15日

在ベトナム日本国大使館

4月14日(日)、ハイフォン市カットハイ島ラックフェン港建設予定地において、グエン・タン・ズン首相、谷崎泰明駐ベトナム特命全権大使等が参加し、ラックフェン国際港建設計画起工式が行われた。

この計画は日越両国の「戦略的パートナーシップ」の下に安倍総理とズン首相のリーダーシップにより決定され、日越両国企業の合弁により実施する、日越間で初のPPP案件です。ラックフェン港は今後のベトナムの経済発展に資するのみならず、メコン地域、ASEAN地域の玄関港となるなど、ASEANの一層の連携強化ならびに地域の平和と繁栄に貢献するものとして、その役割に強い期待が寄せられています。

(大使スピーチ別添)

(了)



谷崎泰明大使



グエン・タン・ズン首相



ラックフェン港完成予想図

(別添) 4月14日ラックフェン港起工式 谷崎大使挨拶

本日、グエン・タン・ズン・ベトナム社会主義共和国首相、ウオン・チュン・リユウ・国会副議長、グエン・ミン・クアン・資源環境大臣、ディン・ラー・タン・交通運輸大臣、グエン・ヴァン・タイン・ハイフォン市党委書記他の皆さまのご臨席のもと、ラックフェン港の着工式に臨むことを、大変嬉しく感じております。まずは本着工式の開催にご尽力頂いた関係者の皆様に心から感謝と敬意を表したいと思っております。

このラックフェン港のプロジェクトは、日越の「戦略的パートナーシップ」の下、本日ご臨席のズン首相と安倍総理のリーダーシップにより決定した大規模 ODA 案件です。

またこのプロジェクトは、大型コンテナ船が着岸する棧橋等の整備をベトナム企業と日本企業の合弁により実施するものであり、日越間で初の大型 PPP 案件であるという意味で、大変意義深いプロジェクトです。

近代産業国家の歴史において、経済的発展は優れたインフラ、特に港湾とその後背地に十分な人口と優れた労働力が必要です。ベトナムは既に十分な人口と労働力があり、後は優れた港湾の存在があれば更なる経済発展が期待できると考えます。ラックフェン港は、水深 14 m の大水深岸壁であり、これは主に外洋の長距離航路に投入される国際コンテナ船が入港可能な、まさに今のベトナムにとって待望の港湾だと思っております。ベトナムはメコン地域にあって海洋を隔て米国、日本、中国に最も近い位置にあります。2015年の ASEAN 域内関税自由化が実現し、メコン地域の連絡性が強化され、この港がメコン地域及び ASEAN の玄関港となることを望んでおります。

本年は、日越外交関係樹立 40 周年の節目の年です。このプロジェクトを通して、今後さらに、ベトナムの発展と、すでに両国、両国民の相互信頼の上にある強固な関係の構築と、最後に皆様のご健勝を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。